

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号  
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311  
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## うたかたネットセミナーで発表

### 八王子お手玉の会がお手玉の技も披露

立命館大学の鶴野祐介教授が代表を務める「うたとかたりのネットワーク(うたかたネット)」は、平成 30 年 7 月 1 日(日)、武蔵野プレイス(東京)で、「うたかたネットセミナー in 東京むさしの」を開催しました。八王子お手玉の会は、このセミナーに参加し、活動報告とお手玉遊びを披露しました。これは、先にDVD「ふるさと八王子のお手玉遊び」の発行に当たり、その編集・制作を担当して下さった、民俗音楽研究家の尾原昭夫先生の仲介によるものです。



セミナーは、鶴野教授の講話で始まりました。教授は、小さな巾着袋から、お手玉、あやとり、小石を取り出し、小石で「石なごとり」を披露しました。鶴野教授は、藤本浩之輔元京都大学教授(元日本のお手玉の会顧問)の著書「遊び文化の探求」を編集され、お手玉遊びにも造詣の深い方で、この 3 点セットはいつも持ち歩いておられるそうです。

講話は、「『昔話の人間学とは』—「浦島太郎」を手がかりとして—」のタイトルでした。昔話を「さまざまな角度」『昔話の人間学』の立ち位置、昔話のあらすじ(モチーフ構成)、歴史の変換の考察指標、考察の結果などを話されました。(写真上)

昔話の語り手の視点がどこにあるか。浦島太郎か、亀か、乙姫様か、あるいは残された家族かで、物語の伝わり方に関係するなど、引き込まれる講話でした。

また、『浦島太郎』と同じような話が、朝鮮、中国、アイルランド…などにあり、お手玉遊びも、道具が違うものの、世界各地に類似の遊びがあるなど、興味深い内容でした。



### ふるさと八王子の「おさらい」を

講話の後、八王子お手玉の会の鈴木会長が、活動報告とお手玉遊びを披露しました。すすめ方は、「見て、聴いて、やってもっと解かる」で行いました。(写真左)

まず、ふるさと八王子の「おさらい」、拾い技、ゆり技を紹介しました。技を見てもらっている間も、あらかじめ配っておいた

お手玉が、宙を舞っていました。会場は、「早くお手玉をしてみたい」という雰囲気にも包まれていました。「めだかの学校」の歌にお手玉の基本を入れ込んだ遊びが、好評のようでした。

鈴木会長は、このたびの体験を、次のように話しています。

「参加者は、若い人が多く、さまざまな場で活動しておられるので、手の機能、お手玉をつかむ指の動きなどの話を交え、1 個～2 個のお手玉を工夫して活用できるよう、心がけました。1 時間弱の時間で、伝えられなかったことがたくさんあります。しかし、歓声と笑いに包まれた、素晴らしいご縁をいただくことができました。」